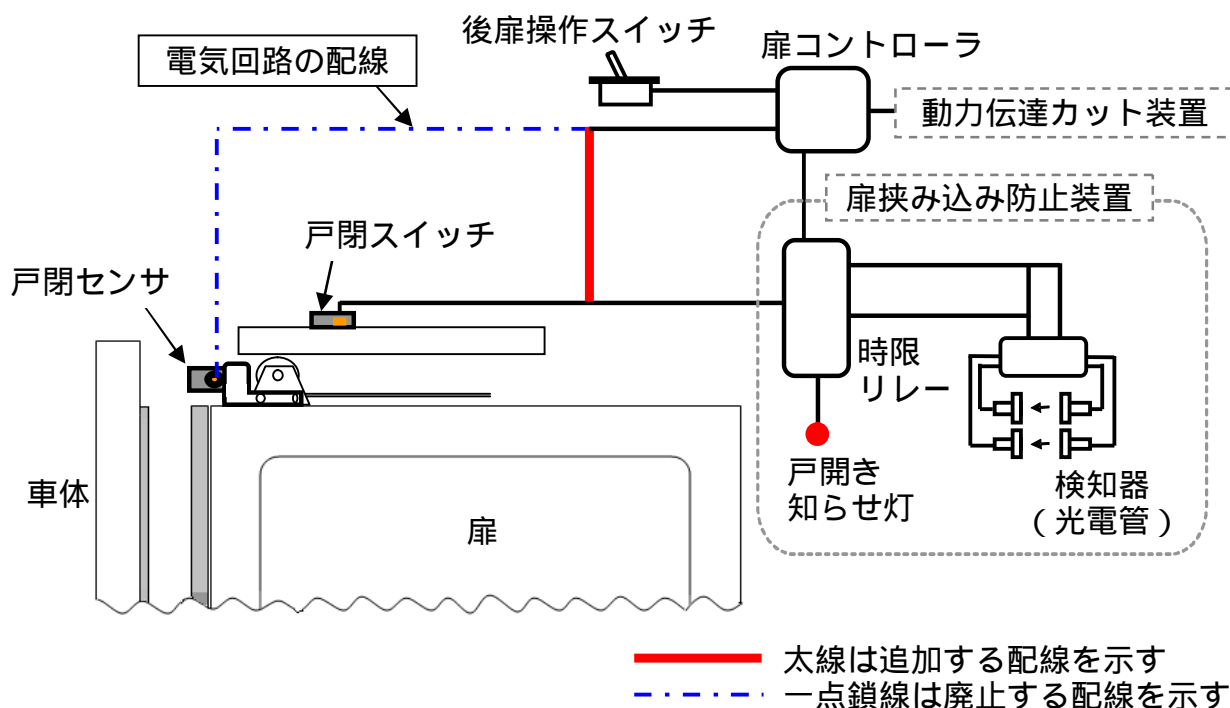
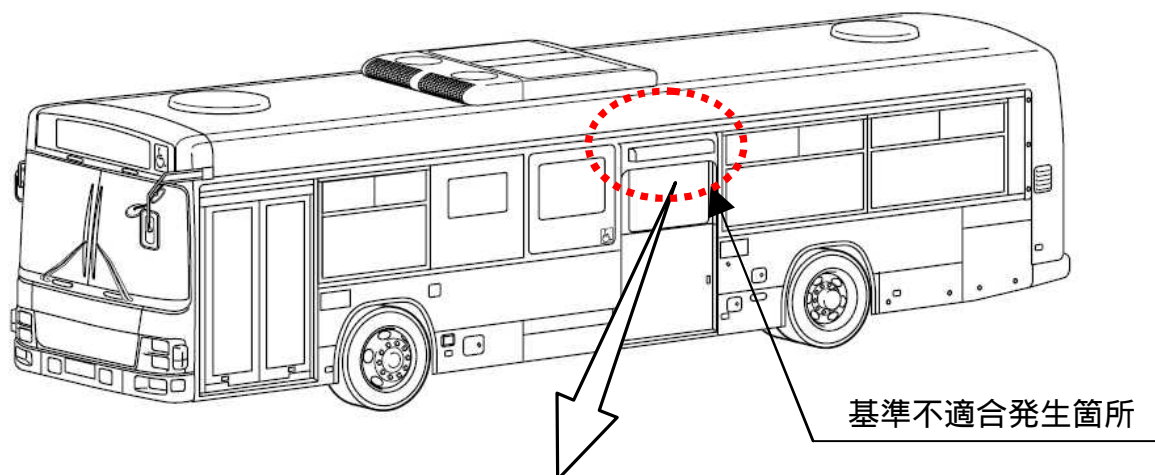


改善箇所説明図



動力伝達カット装置（乗降口の扉を閉じた後でなければ走行装置に動力を伝達することができない構造）を備えた路線バスにおいて、後扉の開閉状態を検知するための電気回路が動力伝達カット装置用と扉挟み込み防止装置用とで分離しているため、後扉に小さな異物等が挟まった場合、扉挟み込み防止装置が作動可能な状態で戸開き知らせ灯が点灯したまま、動力伝達カット装置が解除することがある。そのため、その状態で発進すると、走行中に乗客が検知器（光電管）を遮った際に扉が開くおそれがある。

改善の内容：

全車両、後扉の開閉状態を検知する電気回路の配線を変更する。

識別：運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレート付近に、水色シールを貼付する。

注： は、措置する部品を示す。